

第6章 水環境



水生生物調査（森前川）

第6章 水環境

1 水質汚濁の概要

水質汚濁とは、主として工場、事業場、家庭等から排出される水の中に含まれる有機物、重金属及び他の物質が河川等に流入し、水の本来の状態でなくなることを言います。

本市では、水質汚濁状況を把握するため、中小河川水質調査、洲原池水質調査等を実施し、水質汚濁の防止を図るため、各種啓発活動、工場への立入調査を実施しています。

中小河川においては、10地点でpH、BOD、DO、SS、COD、全窒素、全リン、カドミウム、全シアン、鉛、六価クロム、全クロム、銅、亜鉛、フッ素、油分、砒素の他にも農薬、有機溶剤等を測定しています。

洲原池においては、年4回pH、DO、SS、COD、クロロフィルa、全窒素、全リン等を測定しています。

また、水生生物調査による河川の汚濁状況の把握も行っています。

(1) 水質汚濁に係る環境基準

ア 人の健康の保護に関する環境基準（昭和46年12月28日環境庁告示第59号）

項 目	基 準 値
カドミウム	0.003 mg/ℓ 以下
全シアン	検出されないこと
鉛	0.01 mg/ℓ 以下
六価クロム	0.05 mg/ℓ 以下
砒素	0.01 mg/ℓ 以下
総水銀	0.0005 mg/ℓ 以下
アルキル水銀	検出されないこと
PCB	検出されないこと
ジクロロメタン	0.02 mg/ℓ 以下
四塩化炭素	0.002 mg/ℓ 以下
1, 2-ジクロロエタン	0.004 mg/ℓ 以下
1, 1-ジクロロエチレン	0.1 mg/ℓ 以下
シス-1, 2-ジクロロエチレン	0.04 mg/ℓ 以下
1, 1, 1-トリクロロエタン	1 mg/ℓ 以下
1, 1, 2-トリクロロエタン	0.006 mg/ℓ 以下
トリクロロエチレン	0.01 mg/ℓ 以下
テトラクロロエチレン	0.01 mg/ℓ 以下
1, 3-ジクロロプロペン	0.002 mg/ℓ 以下
チウラム	0.006 mg/ℓ 以下
シマジン	0.003 mg/ℓ 以下
チオベンカルブ	0.02 mg/ℓ 以下
ベンゼン	0.01 mg/ℓ 以下
セレン	0.01 mg/ℓ 以下
硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素	10 mg/ℓ 以下
ふっ素	0.8 mg/ℓ 以下
ほう素	1 mg/ℓ 以下
1, 4-ジオキサン	0.05 mg/ℓ 以下

イ 生活環境の保全に関する環境基準

(ア) 河川のBOD等に係る水質環境基準

項目 刈谷市における該当水域	類型	利用目的の適応性	基準値				
			水素イオン濃度 (pH)	生物化学的酸素要求量 (BOD)	浮遊物質 (SS)	溶存酸素量 (DO)	大腸菌群数
—	AA	水道1級 自然環境保全及びA以下の欄に掲げるもの	6.5以上 8.5以下	1 mg/ℓ 以下	25 mg/ℓ 以下	7.5 mg/ℓ 以上	50MPN /100ml 以下
—	A	水道2級 水産1級 水浴及びB以下の欄に掲げるもの	6.5以上 8.5以下	2 mg/ℓ 以下	25 mg/ℓ 以下	7.5 mg/ℓ 以上	1000MPN /100ml 以下
・境川上流 { 国道1号 新境橋より上流 }	B	水道3級 水産2級 及びC以下の欄に掲げるもの	6.5以上 8.5以下	3 mg/ℓ 以下	25 mg/ℓ 以下	5 mg/ℓ 以上	5000MPN /100ml 以下
・境川下流 { 国道1号 新境橋より下流 }	C	水産3級 工業用水1級 及びD以下の欄に掲げるもの	6.5以上 8.5以下	5 mg/ℓ 以下	50 mg/ℓ 以下	5 mg/ℓ 以上	—
・逢妻川上流 { 国道155号 境大橋より上流 } ・逢妻川下流 { 国道155号 境大橋より下流 } ・猿渡川全域	D	工業用水2級 農業用水及びEの欄に掲げるもの	6.0以上 8.5以下	8 mg/ℓ 以下	100 mg/ℓ 以下	2 mg/ℓ 以上	—
—	E	工業用水3級 環境保全	6.0以上 8.5以下	10 mg/ℓ 以下	ごみ等の浮遊が認められないこと	2 mg/ℓ 以上	—

(注) 1 自然環境保全：自然探勝等の環境保全

2 水道1級：ろ過等による簡易な浄水操作を行うもの

水道2級：沈殿ろ過等による通常の浄水操作を行うもの

水道3級：前処理等を伴う高度の浄水操作を行うもの

3 水産1級：ヤマメ、イワナ等貧腐水性水域の水産生物用並びに水産2級及び3級の水産生物用

水産2級：サケ科魚類及びアユ等貧腐水性水域の水産生物用及び水産3級の水産生物用

水産3級：コイ、フナ等、β-中腐水性水域の水産生物用

4 工業用水1級：沈殿等による通常の浄水操作を行うもの

工業用水2級：薬品注入等による高度の浄水操作を行うもの

工業用水3級：特殊の浄水操作を行うもの

5 環境保全：国民の日常生活（沿岸の遊歩等を含む。）において不快感を生じない限度

(イ) 水生生物の保全に係る水質環境基準

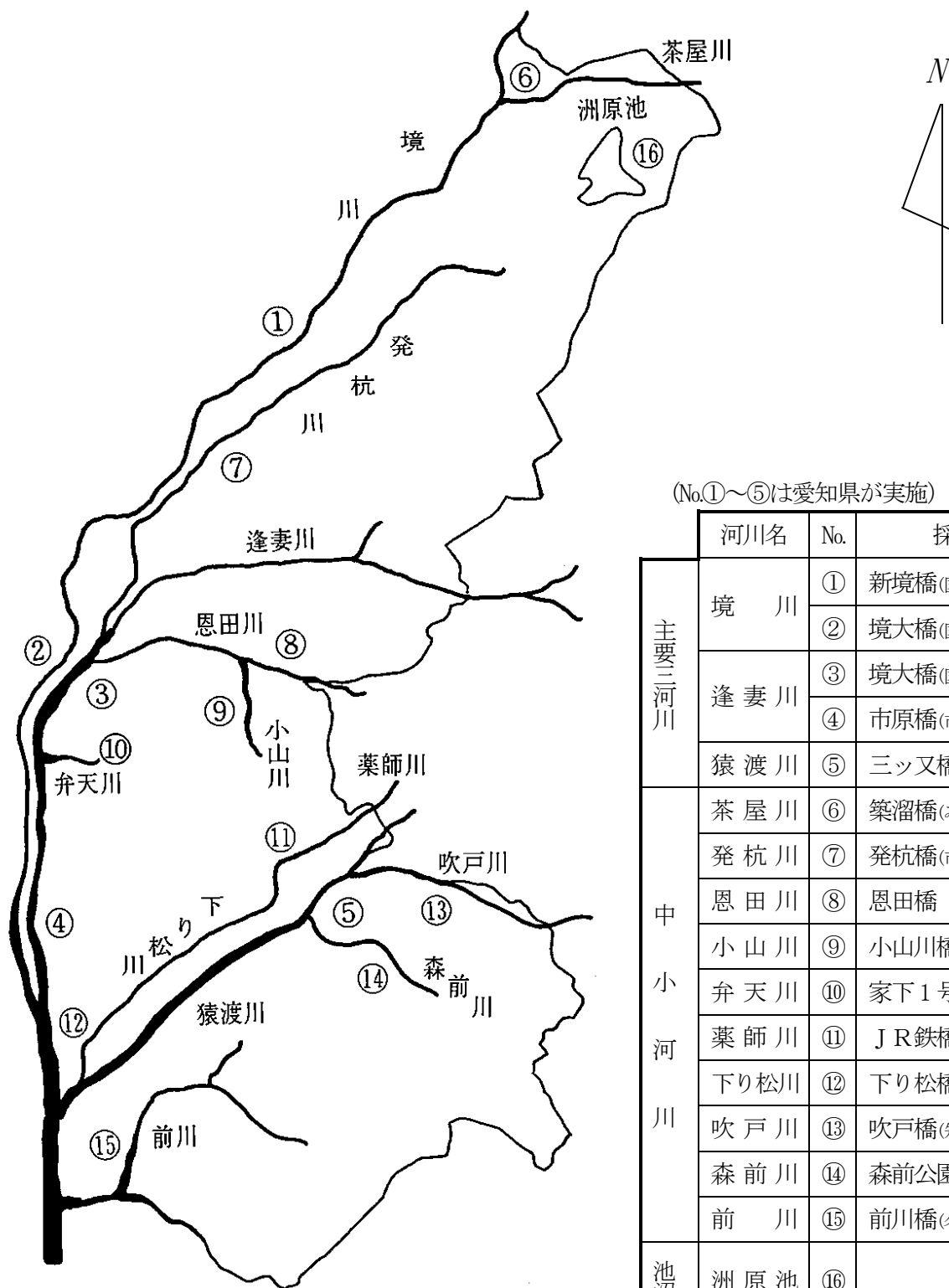
項目 刈谷市に おける該当水域	類型	水生生物の生息状況の適応性	基準値※1		
			全亜鉛	ノニルフェ ノール	LAS※2
—	生物 A	イワナ、サケマス等比較的低温域を好む水生生物及びこれらの餌生物が生息する水域	0.03 mg/L 以下	0.001 mg/L 以下	0.03 mg/L 以下
—	生物特 A	生物 A の水域のうち、生物 A の欄に掲げる水生生物の産卵場(繁殖場)又は幼稚仔の生育場として特に保全が必要な水域	0.03 mg/L 以下	0.0006 mg/L 以下	0.02 mg/L 以下
境川 (全域) 逢妻川 (全域) 猿渡川 (全域)	生物 B	コイ、フナ等比較的高温域を好む水生生物及びこれらの餌生物が生息する水域	0.03 mg/L 以下	0.002 mg/L 以下	0.05 mg/L 以下
—	生物特 B	生物 A 又は生物 B の水域のうち、生物 B の欄に掲げる水生生物の産卵場(繁殖場)又は幼稚仔の生育場として特に保全が必要な水域	0.03 mg/L 以下	0.002 mg/L 以下	0.04 mg/L 以下

※1 基準値は年間平均値

※2 LAS : 直鎖アルキルベンゼンスルホン酸及びその塩

2 河川水質測定結果

(1) 河川水質測定地点



(No.①～⑤は愛知県が実施)

	河川名	No.	採水地点
主要三河川	境川	①	新境橋(国道1号・敷島製パン横)
		②	境大橋(国道155号)
	逢妻川	③	境大橋(国道155号)
		④	市原橋(市原神社付近)
	猿渡川	⑤	三ッ又橋(刈谷東高校付近)
中小河川	茶屋川	⑥	築溜橋(みよし市境)
	発杭川	⑦	発杭橋(市営住宅付近)
	恩田川	⑧	恩田橋
	小山川	⑨	小山川橋
	棄天川	⑩	家下1号線(医王寺西)
	薬師川	⑪	JR鉄橋付近
	下り松川	⑫	下り松橋
	吹戸川	⑬	吹戸橋(知立市境)
	森前川	⑭	森前公園付近
前川	⑮	前川橋(名鉄小畑江駅付近)	
池沼	洲原池	⑯	

(2) 主要3河川の水質汚濁状況

平成29年度の測定結果における主要3河川の環境基準の達成状況は、生活環境項目のうち、河川における代表的な汚濁の指標であるBODで見ますと、境川下流（境大橋）、逢妻川（境大橋）（市原橋）、猿渡川（三ッ又橋）の地点で達成し、境川上流（新境橋）は達成しませんでした。

健康27項目のカドミウム、全シアン、鉛、六価クロム、砒素、総水銀、アルキル水銀、PCB等については、全測定地点で環境基準を達成しています。

BOD（COD）の環境基準の適合状況の評価方法

河川のBOD（生物化学的酸素要求量）や湖沼及び海域のCOD（化学的酸素要求量）の環境基準の達成状況については、環境基準点における75%水質値により評価します。

75%水質値

年間の日間平均値の全データ（n個）をその値の小さいものから順に並べた時、 $0.75 \times n$ （整数でない場合は直近上位の整数）番目にくるデータのことをいいます。

BOD（生物化学的酸素要求量）

河川等の水中の汚濁物質（有機物）が微生物によって分解され、主として無機性酸化物とガス体になる際に消費される酸素量を表します。

食品製造業、パルプ紙製造業等からの排水が高い値を示します。

COD（化学的酸素要求量）

湖沼、海域等の水中の汚濁物質（有機物）が過マンガン酸カリウム等酸化剤によって分解され、主として無機性酸化物とガス体になる際に消費される酸素量を表します。

DO（溶存酸素量）

水中に溶けている酸素の量で表します。溶存酸素量は水温、気圧、塩分などに影響され、汚濁度の高い水中では消費される酸素の量が多いので、溶存酸素量は少なくなります。水中の酸素は普通15°Cで10mg/l溶けます。

なお、魚はDOが永続して4~5mg/l以下になると、生息できないといわれています。

SS（浮遊物質）

水中に懸濁している物質のことで、ろ過して捕集し、乾燥して重量を量ります。

窯業、土石関係の工場排水が高い値を示します。

(3) 主要3河川月別測定結果

ア 境川上流

(測定地点：①新境橋)

	29年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	30年1月	2月	3月
BOD	2.7	4.7	2.5	1.3	1.8	1.9	1.0	1.5	3.8	2.6	4.3	3.5
DO	10	8.4	8.5	9.0	8.4	8.0	8.9	9.3	10	11	12	10
SS	3	31	12	1	3	4	1	3	5	7	7	10

イ 境川下流

(測定地点：②境大橋)

	29年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	30年1月	2月	3月
BOD	1.6	4.6	2.8	2.2	2.6	2.3	1.1	1.1	1.1	1.0	2.2	2.6
DO	6.5	8.0	8.1	7.8	7.5	7.2	6.7	8.4	10	10	13	8.8
SS	3	18	14	5	7	2	3	1	2	5	6	7

ウ 逢妻川上流

(測定地点：③境大橋)

	29年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	30年1月	2月	3月
BOD	2.1	5.4	2.7	2.8	2.0	3.1	0.8	1.2	0.9	1.4	3.9	3.0
DO	7.0	8.0	8.4	8.7	6.2	6.6	4.8	6.1	7.3	8.5	10	7.6
SS	5	36	10	14	6	23	10	9	17	8	27	10

エ 逢妻川下流

(測定地点：④市原橋)

	29年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	30年1月	2月	3月
BOD	8.0	5.1	2.4	1.4	2.2	3.0	1.3	1.4	0.8	0.8	1.9	1.3
DO	11	5.9	5.4	5.1	5.2	5.4	5.2	6.5	7.1	8.6	8.7	8.2
SS	12	28	13	11	9	15	3	7	7	7	23	15

オ 猿渡川

(測定地点：⑤三ツ又橋)

	29年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	30年1月	2月	3月
BOD	1.4	3.0	1.6	3.5	1.3	1.8	1.1	1.0	1.5	3.5	3.8	4.3
DO	5.7	7.9	6.6	4.9	6.8	6.1	4.2	8.4	8.4	9.5	9.7	7.8
SS	5	50	10	11	7	13	12	5	9	4	25	11

※単位：mg/l

(4) 主要3河川年度別測定結果 (年平均値)

ア 境川上流

(測定地点：①新境橋)

年度 項目	24	25	26	27	28	29
pH	7.2	7.3	7.3	7.3	7.3	7.3
BOD	3.1	4.6	2.5	4.9	2.2	3.5
	2.5	3.6	2.4	3.4	1.8	2.6
COD	6.7	7.3	6.6	7.2	6.2	6.5
SS	11	6	8	8	5	7
DO	9.6	9.3	9.8	9.4	9.6	9.5
油分	ND	ND	ND	ND	ND	ND
T-N	2.9	2.4	2.0	2.6	2.4	2.8
T-P	0.21	0.22	0.20	0.24	0.17	0.18

イ 境川下流

(測定地点：②境大橋)

年度 項目	24	25	26	27	28	29
pH	7.2	7.3	7.3	7.3	7.2	7.3
BOD	3.4	2.8	2.6	2.2	2.3	2.6
	3.4	2.4	2.1	2.7	2.1	2.1
COD	7.6	6.9	6.5	7.0	6.2	6.6
SS	18	11	8	9	8	6
DO	8.5	8.1	8.5	8.6	8.2	8.5
油分	ND	ND	ND	ND	ND	ND
T-N	2.1	2.5	2.2	2.7	2.6	2.8
T-P	0.24	0.23	0.20	0.22	0.20	0.21

ウ 逢妻川上流

(測定地点：③境大橋)

年度 項目	24	25	26	27	28	29
pH	7.1	7.1	7.1	7.1	7.1	7.2
BOD	3.6	3.7	2.2	3.0	2.8	3.0
	3.3	3.1	3.5	3.1	2.0	2.4
COD	7.1	7.1	6.5	6.9	5.9	6.4
SS	23	25	9	12	12	15
DO	7.0	7.1	7.8	7.4	7.2	7.4
油分	ND	ND	ND	ND	ND	ND
T-N	2.5	2.6	2.6	3.1	2.9	3.0
T-P	0.29	0.29	0.28	0.29	0.25	0.23

エ 逢妻川下流

(測定地点：④市原橋)

年度 項目	24	25	26	27	28	29
pH	7.2	7.2	7.3	7.3	7.3	7.4
BOD	2.2	2.0	2.0	1.5	1.8	2.4
	2.3	1.9	2.0	1.6	1.7	2.5
COD	6.1	5.8	5.7	5.5	5.3	6.3
SS	19	14	11	14	11	13
DO	6.3	5.8	7.1	6.9	6.2	6.9
油分	ND	ND	ND	ND	ND	ND
T-N	2.2	2.1	2.2	2.3	2.4	2.6
T-P	0.26	0.24	0.24	0.22	0.21	0.23

オ 猿渡川

(測定地点：⑤三ツ又橋)

年度 項目	24	25	26	27	28	29
pH	7.1	7.2	6.8	7.1	7.4	7.0
BOD	3.8	2.1	3.0	1.8	2.5	3.5
	3.0	2.1	2.6	1.7	2.0	2.3
COD	5.5	4.9	5.2	4.6	4.7	5.1
SS	28	15	20	9	20	14
DO	8.0	7.1	7.6	7.9	7.4	7.2
油分	0.5	ND	ND	ND	ND	ND
T-N	2.5	2.9	2.4	2.6	2.3	2.7
T-P	0.22	0.23	0.22	0.20	0.22	0.23

※NDは定量限界以下を示す。
 ※BODは 上段 75%水質値
 下段 平均値
 ※単位はpH以外mg/l

(5) 中小河川の水質汚濁状況

市内を流れる主な中小河川の水質汚濁状況をみますと、改善傾向が見られる河川もありますが、まだ汚濁度の高い河川もあり、宅地化に伴う生活排水による影響が見られます。

また、自己流量の少ない中小河川では生活排水の影響を受け易く、基本的には下水道の整備や合併処理浄化槽の普及促進などの対策が必要と思われます。また一般家庭では、食べ残し、調理くず及び使用済みの食用油を流さないこと、洗剤の適正な使用、浄化槽の適正な管理等が大切です。

本市においては、生活排水対策として水生生物調査、環境講座、リーフレット及び市民だより等による啓発活動を推進してきましたが、今後も、更に啓発活動の充実、促進に努めていきたいと考えています。



(6) 中小河川水質年度別測定結果

ア 茶 屋 川

(測定地点：⑥築溜橋)

項目	年 度								
	25 年度 平 均	26 年度 平 均	27 年度 平 均	28 年度 平 均	29年5月	29年8月	29年11月	30年2月	29 年度 平 均
pH	7.2	7.1	7.3	7.4	7.2	6.7	7.1	7.2	7.1
BOD	3.7	7.2	3.0	2.2	3.1	2.4	2.2	2.9	2.7
COD	6.4	7.8	6.5	6.0	7.0	6.5	3.9	5.3	5.7
SS	16.8	17.3	13	11	22	15	5	11	13
DO	9.6	9.8	9.1	10.2	8.4	8.1	10	12	9.6
カドミウム	<0.0003	<0.0005	<0.0005	<0.0005	—	<0.0005	—	<0.0005	<0.0005
全シアン	ND	ND	ND	ND	—	ND	—	ND	ND
鉛	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	—	<0.005	—	<0.005	<0.005
六価クロム	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	—	<0.01	—	<0.01	<0.01
銅	0.01	<0.01	<0.01	<0.01	—	<0.01	—	0.02	0.015
全亜鉛	0.07	0.02	0.015	0.03	—	0.017	—	0.05	0.034
総クロム	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	—	<0.01	—	<0.01	<0.01
ふっ素	0.05	0.09	0.10	0.11	—	0.14	—	<0.08	0.11
油分	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
全窒素	3.5	2.9	2.9	2.7	2.9	2.0	4.1	2.9	3.0
全リン	0.18	0.17	0.14	0.13	0.17	0.14	0.11	0.16	0.15
砒素	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	—	<0.005	—	<0.005	<0.005
ジクロロメタン	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	—	—	—	<0.002	<0.002
四塩化炭素	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	—	—	—	<0.0002	<0.0002
1,2-ジクロロエタン	<0.0004	<0.0004	<0.0004	<0.0004	—	—	—	<0.0004	<0.0004
1,1-ジクロロエチレン	<0.002	<0.002	<0.01	<0.01	—	—	—	<0.01	<0.01
シス-1,2-ジクロロエチレン	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004	—	—	—	<0.004	<0.004
1,1,1-トリクロロエタン	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	—	—	—	<0.1	<0.1
1,1,2-トリクロロエタン	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006	—	—	—	<0.0006	<0.0006
トリクロロエチレン	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	—	—	—	<0.002	<0.002
テトラクロロエチレン	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	—	—	—	<0.0005	<0.0005
1,3-ジクロロプロペン	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	—	—	—	<0.0002	<0.0002
チウラム	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006	—	—	—	<0.0006	<0.0006
シマジン	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	—	—	—	<0.0003	<0.0003
チオベンカルブ	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	—	—	—	<0.002	<0.002
ベンゼン	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	—	—	—	<0.001	<0.001
セレン	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	—	—	—	<0.002	<0.002

※ 全シアンは0.1未満、油分は0.5未満については、「ND」と記載。以下同じ。

イ 発 杭 川

(測定地点：⑦発杭橋)

年 度 項 目	25 年度 平 均	26 年度 平 均	27 年度 平 均	28 年度 平 均	29 年 5 月	29 年 8 月	29 年 11 月	30 年 2 月	29 年度 平 均
pH	7.1	7.1	7.1	7.2	7.2	6.9	7.1	7.4	7.2
BOD	2.4	5.5	3.5	3.0	3.3	1.9	2.3	3.3	2.7
COD	5.9	6.3	9.2	6.2	8.7	3.0	4.8	7.4	6.0
SS	25	19	28	20	30	7	5	3	11
DO	6.3	8.2	7.7	8.9	7.3	5.8	6.0	11	7.5
カ ド ミ ウ ム	<0.0003	<0.0005	<0.0005	<0.0005	—	<0.0005	—	<0.0005	<0.0005
全 シ ア ン	ND	ND	ND	ND	—	ND	—	ND	ND
鉛	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	—	<0.005	—	<0.005	<0.005
六 価 ク ロ ム	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	—	<0.01	—	<0.01	<0.01
銅	<0.01	<0.01	0.01	<0.01	—	<0.01	—	<0.01	<0.01
全 亜 鉛	0.05	0.03	0.052	0.04	—	0.009	—	0.038	0.024
総 ク ロ ム	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	—	<0.01	—	0.01	<0.01
ふ っ 素	0.13	0.12	0.10	0.11	—	0.14	—	<0.08	0.11
油 分	0.2	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
全 窒 素	3.1	3.3	3.8	3.3	2.6	1.7	3.5	5.3	3.3
全 リ ン	0.29	0.22	0.38	0.25	0.28	0.16	0.12	0.19	0.19
砒 素	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	—	<0.005	—	<0.005	<0.005
ジ ク ロ ロ メ タ ン	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	—	—	—	<0.002	<0.002
四 塩 化 炭 素	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	—	—	—	<0.0002	<0.0002
1, 2-ジクロロエタン	<0.0004	<0.0004	<0.0004	<0.0004	—	—	—	<0.0004	<0.0004
1, 1-ジクロロエチレン	<0.002	<0.002	<0.01	<0.01	—	—	—	<0.01	<0.01
シス-1, 2-ジクロロエチレン	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004	—	—	—	<0.004	<0.004
1, 1, 1-トリクロロエタン	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	—	—	—	<0.1	<0.1
1, 1, 2-トリクロロエタン	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006	—	—	—	<0.0006	<0.0006
トリクロロエチレン	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	—	—	—	<0.002	<0.002
テトラクロロエチレン	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	—	—	—	<0.0005	<0.0005
1, 3-ジクロロプロペン	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	—	—	—	<0.0002	<0.0002
チ ウ ラ ム	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006	—	—	—	<0.0006	<0.0006
シ マ ジ ン	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	—	—	—	<0.0003	<0.0003
チ オ ベ ン カ ル ブ	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	—	—	—	<0.002	<0.002
ベ ン ゼ ン	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	—	—	—	<0.001	<0.001
セ レ ン	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	—	—	—	<0.002	<0.002

ウ 恩 田 川

(測定地点: ⑧恩田橋)

年 度 項 目	25 年度 平 均	26 年度 平 均	27 年度 平 均	28 年度 平 均	29 年5月	29 年8月	29 年11月	30 年2月	29 年度 平 均
pH	7.3	7.1	7.4	7.4	7.4	7.1	7.2	7.3	7.3
BOD	2.4	4.5	2.7	2.5	2.1	3.5	1.6	2.4	2.4
COD	3.8	5.1	4.7	5.1	4.1	4.6	3.6	4.9	4.3
SS	4.8	9.8	4.8	7	6	8	2	3	5
DO	9.2	9.4	10.6	11.1	9.8	8.3	12	12	10.5
カ ド ミ ウ ム	<0.0003	<0.0005	<0.0005	<0.0005	—	<0.0005	—	<0.0005	<0.0005
全 シ ア ン	ND	ND	ND	ND	—	ND	—	ND	ND
鉛	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	—	<0.005	—	<0.005	<0.005
六 価 ク ロ ム	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	—	<0.01	—	<0.01	<0.01
銅	<0.01	<0.01	<0.02	<0.01	—	<0.01	—	<0.01	<0.01
全 亜 鉛	0.03	0.03	0.025	0.02	—	0.012	—	0.033	0.023
総 ク ロ ム	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	—	<0.01	—	<0.01	<0.01
ふ っ 素	0.06	<0.09	0.11	0.09	—	<0.08	—	<0.08	<0.08
油 分	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
全 窒 素	2.6	2.6	2.5	3.0	1.6	2.1	3.3	4.3	2.8
全 リ ン	0.13	0.17	0.12	0.12	0.094	0.10	0.13	0.12	0.11
砒 素	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	—	<0.005	—	<0.005	<0.005
ジクロロメタン	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	—	—	—	<0.002	<0.002
四 塩 化 炭 素	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	—	—	—	<0.0002	<0.0002
1, 2-ジクロロエタン	<0.0004	<0.0004	<0.0004	<0.0004	—	—	—	<0.0004	<0.0004
1, 1-ジクロロエチレン	<0.002	<0.002	<0.01	<0.01	—	—	—	<0.01	<0.01
シス-1, 2-ジクロロエチレン	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004	—	—	—	<0.004	<0.004
1, 1, 1-トリクロロエタン	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	—	—	—	<0.1	<0.1
1, 1, 2-トリクロロエタン	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006	—	—	—	<0.0006	<0.0006
トリクロロエチレン	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	—	—	—	<0.002	<0.002
テトラクロロエチレン	0.0012	0.0009	<0.0005	<0.0005	—	—	—	<0.0005	<0.0005
1, 3-ジクロロプロペン	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	—	—	—	<0.0002	<0.0002
チ ウ ラ ム	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006	—	—	—	<0.0006	<0.0006
シ マ ジ ン	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	—	—	—	<0.0003	<0.0003
チ オ ベ ン カ ル ブ	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	—	—	—	<0.002	<0.002
ベ ン ゼ ン	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	—	—	—	<0.001	<0.001
セ レ ン	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	—	—	—	<0.002	<0.002

エ 小 山 川

(測定地点:⑨小山川橋)

年 度 項 目	25 年度 平 均	26 年度 平 均	27 年度 平 均	28 年度 平 均	29年5月	29年8月	29年11月	30年2月	29 年度 平 均
pH	8.0	8.1	8.9	8.2	7.6	7.6	10.1	7.2	8.1
BOD	1.3	2.7	1.5	1.2	0.6	1.3	1.5	1.8	1.3
COD	2.8	3.2	3.3	2.9	2.3	2.4	3.0	3.8	2.9
SS	1.3	3.5	<1.3	4	3	2	<1	3	2.3
DO	11.3	11.8	13.5	13.5	9.8	8.9	13	15	117
カドミウム	<0.0003	<0.0005	<0.0005	<0.0005	—	<0.0005	—	<0.0005	<0.0005
全シアン	ND	ND	ND	ND	—	ND	—	ND	ND
鉛	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	—	<0.005	—	<0.005	<0.005
六価クロム	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	—	<0.01	—	<0.01	<0.01
銅	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	—	<0.01	—	<0.01	<0.01
全亜鉛	0.03	0.02	0.008	0.01	—	0.005	—	0.087	0.046
総クロム	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	—	<0.01	—	<0.01	<0.01
ふっ素	0.10	0.11	<0.1	<0.08	—	<0.08	—	<0.08	<0.08
油分	0.2	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
全窒素	1.3	1.9	1.6	2.0	0.58	1.1	2.0	2.9	1.6
全リン	0.05	0.07	0.08	0.07	0.041	0.050	0.073	0.18	0.09
砒素	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	—	<0.005	—	<0.005	<0.005
ジクロロメタン	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	—	—	—	<0.002	<0.002
四塩化炭素	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	—	—	—	<0.0002	<0.0002
1,2-ジクロロエタン	<0.0004	<0.0004	<0.0004	<0.0004	—	—	—	<0.0004	<0.0004
1,1-ジクロロエチレン	<0.002	<0.002	<0.01	<0.01	—	—	—	<0.01	<0.01
シス-1,2-ジクロロエチレン	0.032	0.005	<0.004	<0.004	—	—	—	<0.004	<0.004
1,1,1-トリクロロエタン	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	—	—	—	<0.1	<0.1
1,1,2-トリクロロエタン	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006	—	—	—	<0.0006	<0.0006
トリクロロエチレン	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	—	—	—	<0.002	<0.002
テトラクロロエチレン	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	—	—	—	<0.0005	<0.0005
1,3-ジクロロプロパン	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	—	—	—	<0.0002	<0.0002
チウラム	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006	—	—	—	<0.0006	<0.0006
シマジン	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	—	—	—	<0.0003	<0.0003
チオベンカルブ	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	—	—	—	<0.002	<0.002
ベンゼン	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	—	—	—	<0.001	<0.001
セレン	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	—	—	—	<0.002	<0.002

才 弁 天 川

(測定地点：⑩家下1号線)

項目	年 度								
	25 年度 平 均	26 年度 平 均	27 年度 平 均	28 年度 平 均	29年5月	29年9月	29年11月	30年2月	29 年度 平 均
pH	7.3	7.4	7.2	7.2	7.2	7.2	7.0	7.2	7.2
BOD	0.8	4.6	0.9	0.9	0.6	0.8	0.7	<0.5	0.7
COD	2.8	4.9	2.8	2.9	2.8	2.2	3.3	2.4	2.7
SS	9.8	17	6	4	5	11	19	1	9
DO	9.4	9.5	8.2	8.7	9.0	7.5	7.4	10	8.5
カドミウム	<0.0003	<0.0005	<0.0005	<0.0005	—	<0.0005	—	<0.0005	<0.0005
全シアン	ND	ND	ND	ND	—	ND	—	ND	ND
鉛	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	—	<0.005	—	<0.005	<0.005
六価クロム	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	—	<0.01	—	<0.01	<0.01
銅	0.01	<0.01	<0.01	<0.01	—	<0.01	—	<0.01	<0.01
全亜鉛	0.02	0.03	0.01	0.01	—	0.003	—	0.007	0.005
総クロム	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	—	<0.01	—	<0.01	<0.01
ふっ素	<0.08	0.27	0.11	0.10	—	<0.08	—	<0.08	<0.08
油分	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
全窒素	1.5	2.1	1.7	1.8	0.69	0.47	2.4	2.7	1.6
全リン	0.057	0.14	0.050	0.06	0.034	0.039	0.056	0.043	0.04
砒素	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	—	<0.005	—	<0.005	<0.005
ジクロロメタン	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	—	—	—	<0.002	<0.002
四塩化炭素	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	—	—	—	<0.0002	<0.0002
1,2-ジクロロエタン	<0.0004	<0.0004	<0.0004	<0.0004	—	—	—	<0.0004	<0.0004
1,1-ジクロロエチレン	<0.002	<0.01	<0.01	<0.01	—	—	—	<0.01	<0.01
シス-1,2-ジクロロエチレン	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004	—	—	—	<0.004	<0.004
1,1,1-トリクロロエタン	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	—	—	—	<0.1	<0.1
1,1,2-トリクロロエタン	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006	—	—	—	<0.0006	<0.0006
トリクロロエチレン	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	—	—	—	<0.002	<0.002
テトラクロロエチレン	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	—	—	—	<0.0005	<0.0005
1,3-ジクロロプロペン	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	—	—	—	<0.0002	<0.0002
チウラム	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006	—	—	—	<0.0006	<0.0006
シマジン	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	—	—	—	<0.0003	<0.0003
チオベンカルブ	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	—	—	—	<0.002	<0.002
ベンゼン	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	—	—	—	<0.001	<0.001
セレン	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	—	—	—	<0.002	<0.002

カ 薬 師 川

(測定地点：⑪JR鉄橋付近)

年 度 項 目	25 年度 平 均	26 年度 平 均	27 年度 平 均	28 年度 平 均	29年5月	29年8月	29年11月	30年2月	29 年度 平 均
pH	7.4	7.6	7.6	7.4	7.7	7.4	7.4	7.4	7.5
BOD	2.7	5.2	<1.7	1.1	1.9	2.1	3.8	3.4	2.8
COD	7.1	7.0	6.6	4.2	5.8	4.9	8.5	10	7.3
SS	3.3	3.5	3	6	6	7	2	2	4
DO	9.0	9.2	10	10	9.6	8.6	11	11	10.1
カドミウム	<0.0003	<0.0005	<0.0005	<0.0005	—	<0.0005	—	<0.0005	<0.0005
全シアン	ND	ND	ND	ND	—	ND	—	ND	ND
鉛	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	—	<0.005	—	<0.005	<0.005
六価クロム	0.02	<0.01	<0.01	<0.01	—	<0.01	—	<0.01	<0.01
銅	0.02	0.02	0.03	0.02	—	<0.01	—	0.02	0.015
全亜鉛	0.14	0.11	0.11	0.05	—	0.035	—	0.29	0.16
総クロム	0.09	0.02	0.04	0.02	—	<0.01	—	0.05	0.03
ふっ素	0.54	0.51	0.20	0.21	—	0.16	—	<0.08	0.12
油分	0.2	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
全窒素	9.2	5.7	5.0	4.2	2.3	4.0	4.8	5.0	4.0
全リン	0.27	0.18	0.20	0.12	0.29	0.21	0.29	0.41	0.30
砒素	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	—	<0.005	—	<0.005	<0.005
ジクロロメタン	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	—	—	—	<0.002	<0.002
四塩化炭素	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	—	—	—	<0.0002	<0.0002
1,2-ジクロロエタン	<0.0004	<0.0004	<0.0004	<0.0004	—	—	—	<0.0004	<0.0004
1,1-ジクロロエチレン	<0.002	<0.01	<0.01	<0.01	—	—	—	<0.01	<0.01
シス-1,2-ジクロロエチレン	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004	—	—	—	<0.004	<0.004
1,1,1-トリクロロエタン	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	—	—	—	<0.1	<0.1
1,1,2-トリクロロエタン	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006	—	—	—	<0.0006	<0.0006
トリクロロエチレン	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	—	—	—	<0.002	<0.002
テトラクロロエチレン	<0.0005	<0.0005	0.0014	0.0014	—	—	—	0.0008	0.0008
1,3-ジクロロプロペン	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	—	—	—	<0.0002	<0.0002
チウラム	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006	—	—	—	<0.0006	<0.0006
シマジン	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	—	—	—	<0.0003	<0.0003
チオベンカルブ	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	—	—	—	<0.002	<0.002
ベンゼン	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	—	—	—	<0.001	<0.001
セレン	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	—	—	—	<0.002	<0.002

キ下り松川

(測定地点：⑫下り松橋)

年度 項目	25年度 平均	26年度 平均	27年度 平均	28年度 平均	29年5月	29年8月	29年11月	30年2月	29年度 平均
pH	7.3	7.2	7.2	7.2	7.3	7.0	7.2	7.4	7.2
BOD	2.7	5.2	2.7	2.6	1.6	2.3	0.7	1.9	1.6
COD	6.2	4.9	4.9	5.0	4.4	5.0	3.3	5.8	4.6
SS	7.3	7	4.8	8	6	10	3	<1	5
DO	8.1	8.1	8.4	8.4	7.9	6.5	7.6	9.7	7.9
カドミウム	<0.0003	<0.0005	<0.0005	<0.0005	—	<0.0005	—	<0.0005	<0.0005
全シアン	ND	ND	ND	ND	—	ND	—	ND	ND
鉛	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	—	<0.005	—	<0.005	<0.005
六価クロム	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	—	<0.01	—	<0.01	<0.01
銅	0.01	<0.01	<0.01	<0.01	—	<0.01	—	<0.01	<0.01
全亜鉛	0.19	0.10	0.06	0.06	—	0.037	—	0.21	0.12
総クロム	0.01	0.01	<0.01	<0.01	—	<0.01	—	0.02	0.015
ふっ素	0.52	0.42	0.30	0.26	—	0.21	—	0.33	0.27
油分	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
全窒素	7.2	5.3	4.4	3.6	1.6	4.7	7.6	6.7	5.2
全リン	0.19	0.11	0.12	0.11	0.12	0.13	0.088	0.11	0.11
砒素	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	—	<0.005	—	<0.005	<0.005
ジクロロメタン	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	—	—	—	<0.002	<0.002
四塩化炭素	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	—	—	—	<0.0002	<0.0002
1,2-ジクロロエタン	<0.0004	<0.0004	<0.0004	<0.0004	—	—	—	<0.0004	<0.0004
1,1-ジクロロエチレン	<0.002	<0.01	<0.01	<0.01	—	—	—	<0.01	<0.01
シス-1,2-ジクロロエチレン	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004	—	—	—	<0.004	<0.004
1,1,1-トリクロロエタン	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	—	—	—	<0.1	<0.1
1,1,2-トリクロロエタン	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006	—	—	—	<0.0006	<0.0006
トリクロロエチレン	0.002	<0.002	<0.002	<0.002	—	—	—	<0.002	<0.002
テトラクロロエチレン	0.0006	<0.0005	<0.0005	<0.0005	—	—	—	<0.0005	<0.0005
1,3-ジクロロプロペン	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	—	—	—	<0.0002	<0.0002
チウラム	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006	—	—	—	<0.0006	<0.0006
シマジン	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	—	—	—	<0.0003	<0.0003
チオベンカルブ	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	—	—	—	<0.002	<0.002
ベンゼン	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	—	—	—	<0.001	<0.001
セレン	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	—	—	—	<0.002	<0.002

ク 吹 戸 川

(測定地点: ⑬吹戸橋)

年 度 項 目	25 年度	26 年度	27 年度	28 年度	29 年 5 月	29 年 8 月	29 年 11 月	30 年 2 月	29 年度
	平 均	平 均	平 均	平 均					平 均
pH	7.3	7.7	7.3	7.4	7.0	7.1	7.1	7.2	7.1
BOD	2.6	5.4	3.4	2.9	7.6	2.7	1.6	3.4	3.8
COD	4.0	4.9	5.9	5.6	12	4.2	3.6	5.2	6.3
SS	7	7.3	15.5	7	23	6	1	3	8
DO	8.6	10	9.5	9.9	7.0	8.7	9.8	13	9.6
カ ド ミ ウ ム	<0.0003	<0.0005	<0.0005	<0.0005	—	<0.0005	—	<0.0005	<0.0005
全 シ ア ン	ND	ND	ND	ND	—	ND	—	ND	ND
鉛	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	—	<0.005	—	<0.005	<0.005
六 価 ク ロ ム	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	—	<0.01	—	<0.01	<0.01
銅	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	—	<0.01	—	<0.01	<0.01
全 亜 鉛	0.02	0.01	0.014	0.01	—	0.004	—	0.011	0.0075
総 ク ロ ム	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	—	<0.01	—	<0.01	<0.01
ふ っ 素	<0.08	<0.09	<0.08	<0.08	—	<0.08	—	<0.08	<0.08
油 分	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
全 窒 素	2.7	2.7	3.1	2.3	3.0	1.2	3.2	3.7	2.8
全 リ ン	0.19	0.19	0.29	0.19	0.48	0.13	0.15	0.26	0.26
砒 素	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	—	<0.005	—	<0.005	<0.005
ジ ク ロ ロ メ タ ン	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	—	—	—	<0.002	<0.002
四 塩 化 炭 素	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	—	—	—	<0.0002	<0.0002
1, 2-ジ ク ロ ロ エ タ ン	<0.0004	<0.0004	<0.0004	<0.0004	—	—	—	<0.0004	<0.0004
1, 1-ジ ク ロ ロ エ チ レ ン	<0.002	<0.01	<0.01	<0.01	—	—	—	<0.01	<0.01
シス-1, 2-ジ ク ロ ロ エ チ レ ン	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004	—	—	—	<0.004	<0.004
1, 1, 1-ト リ ク ロ ロ エ タ ン	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	—	—	—	<0.1	<0.1
1, 1, 2-ト リ ク ロ ロ エ タ ン	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006	—	—	—	<0.0006	<0.0006
ト リ ク ロ ロ エ チ レ ン	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	—	—	—	<0.002	<0.002
テ ト ラ ク ロ ロ エ チ レ ン	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	—	—	—	<0.0005	<0.0005
1, 3-ジ ク ロ ロ プ ロ ベ ン	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	—	—	—	<0.0002	<0.0002
チ ウ ラ ム	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006	—	—	—	<0.0006	<0.0006
シ マ ジ ン	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	—	—	—	<0.0003	<0.0003
チ オ ベ ン カ ル ブ	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	—	—	—	<0.002	<0.002
ベ ン ゼ ン	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	—	—	—	<0.001	<0.001
セ レ ン	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	—	—	—	<0.002	<0.002

ケ 森 前 川

(測定地点：⑭森前公園付近)

年 度 項 目	25 年度 平 均	26 年度 平 均	27 年度 平 均	28 年度 平 均	29年5月	29年9月	29年11月	30年2月	29 年度 平 均
pH	7.2	7.3	7.0	7.1	7.4	7.1	6.8	6.9	7.1
BOD	3.3	4.2	2.0	1.9	2.0	1.1	1.2	2.0	1.6
COD	4.4	3.6	3.7	3.9	3.3	2.4	3.5	6.5	3.9
SS	9	2.8	1.8	5	6	4	<1	1	3
DO	9.1	7.2	8.8	8.5	9.5	8.5	7.4	9.0	8.6
カドミウム	<0.0003	<0.0005	<0.0005	<0.0005	—	<0.0005	—	<0.0005	<0.0005
全シアン	ND	ND	ND	ND	—	ND	—	ND	ND
鉛	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	—	<0.005	—	<0.005	<0.005
六価クロム	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	—	<0.01	—	<0.01	<0.01
銅	0.01	<0.01	<0.01	<0.01	—	<0.01	—	<0.01	<0.01
全亜鉛	0.02	0.03	0.017	0.02	—	0.006	—	0.018	0.012
総クロム	0.01	<0.01	<0.01	0.03	—	<0.01	—	0.02	0.015
ふっ素	0.12	0.14	0.46	0.08	—	<0.08	—	<0.08	<0.08
油分	0.5	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
全窒素	4.6	5.5	4.9	4.9	1.8	1.2	7.1	6.5	4.2
全リン	0.33	0.27	0.20	0.20	0.12	0.082	0.25	0.31	0.19
砒素	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	—	<0.005	—	<0.005	<0.005
ジクロロメタン	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	—	—	—	<0.002	<0.002
四塩化炭素	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	—	—	—	<0.0002	<0.0002
1,2-ジクロロエタン	<0.0004	<0.0004	<0.0004	<0.0004	—	—	—	<0.0004	<0.0004
1,1-ジクロロエチレン	<0.002	<0.01	<0.01	<0.01	—	—	—	<0.01	<0.01
シス-1,2-ジクロロエチレン	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004	—	—	—	<0.004	<0.004
1,1,1-トリクロロエタン	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	—	—	—	<0.1	<0.1
1,1,2-トリクロロエタン	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006	—	—	—	<0.0006	<0.0006
トリクロロエチレン	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	—	—	—	<0.002	<0.002
テトラクロロエチレン	0.0082	<0.0005	<0.0005	<0.0005	—	—	—	<0.0005	<0.0005
1,3-ジクロロプロペン	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	—	—	—	<0.0002	<0.0002
チウラム	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006	—	—	—	<0.0006	<0.0006
シマジン	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	—	—	—	<0.0003	<0.0003
チオベンカルブ	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	—	—	—	<0.002	<0.002
ベンゼン	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	—	—	—	<0.001	<0.001
セレン	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	—	—	—	<0.002	<0.002

コ 前 川

(測定地点：⑮前川橋)

項目	年 度								
	25 年度 平 均	26 年度 平 均	27 年度 平 均	28 年度 平 均	29年5月	29年8月	29年11月	30年2月	29 年度 平 均
pH	7.2	7.2	7.1	7.2	7.0	7.3	7.2	7.5	7.3
BOD	3.5	3.7	1.6	1.1	2.4	3.7	0.9	1.1	2.0
COD	6.6	4.2	7.0	4.1	7.0	4.4	1.9	3.9	4.3
SS	60	21	18	15	29	29	<1	2	15.3
DO	7.7	7.5	7.1	6.5	6.8	8.3	5.1	10	7.6
カドミウム	0.0003	<0.0005	<0.0005	<0.0005	—	<0.0005	—	<0.0005	<0.0005
全シアン	ND	ND	ND	ND	—	ND	—	ND	ND
鉛	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	—	<0.005	—	<0.005	<0.005
六価クロム	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	—	<0.01	—	<0.01	<0.01
銅	0.04	<0.01	<0.01	<0.01	—	<0.01	—	<0.01	<0.01
全垂鉛	0.2	0.05	0.009	0.01	—	0.007	—	0.016	0.013
総クロム	0.07	<0.01	<0.01	<0.01	—	0.04	—	<0.01	0.025
ふっ素	0.24	0.23	0.15	0.26	—	0.14	—	0.22	0.18
油分	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
全窒素	2.2	3.0	2.8	2.8	1.7	1.5	3.1	3.0	2.3
全リン	0.35	0.21	0.20	0.23	0.28	0.17	0.19	0.16	0.20
砒素	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	—	<0.005	—	<0.005	<0.005
ジクロロメタン	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	—	—	—	<0.002	<0.002
四塩化炭素	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	—	—	—	<0.0002	<0.0002
1,2-ジクロロエタン	<0.0004	<0.0004	<0.0004	<0.0004	—	—	—	<0.0004	<0.0004
1,1-ジクロロエチレン	<0.002	<0.01	<0.01	<0.01	—	—	—	<0.01	<0.01
シス-1,2-ジクロロエチレン	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004	—	—	—	<0.004	<0.004
1,1,1-トリクロロエタン	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	—	—	—	<0.1	<0.1
1,1,2-トリクロロエタン	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006	—	—	—	<0.0006	<0.0006
トリクロロエチレン	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	—	—	—	<0.002	<0.002
テトラクロロエチレン	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	—	—	—	<0.0005	<0.0005
1,3-ジクロロプロペン	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	—	—	—	<0.0002	<0.0002
チウラム	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006	—	—	—	<0.0006	<0.0006
シマジン	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	—	—	—	<0.0003	<0.0003
チオベンカルブ	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	—	—	—	<0.002	<0.002
ベンゼン	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	—	—	—	<0.001	<0.001
セレン	0.002	<0.002	<0.002	<0.002	—	—	—	<0.002	<0.002

3 洲原池水質測定結果

洲原池の概要

洲原池は、本市の北部丘陵地、洲原公園内に位置する本市で一番大きな池です。

- ・目的 かんがい用ため池
- ・水深 約 1.5 m (平均)
- ・広さ 160,000 m²
- ・水量 約 250,000 トン

洲原池水質（上層）測定結果

(測定地点：⑩)

測定項目		採水年月日		29. 5. 17	29. 8. 24	29. 11. 17	30. 2. 8					
		温	℃	22.0	29.0	12.9	6.2					
透	視	度	Cm	25	9	15	39					
水	素	イ	オン	濃	度							
				7.9	8.4	9.4	8.6					
溶	存	酸	素	量	mg/ℓ	7.4	7.0	10	13			
化	学	的	酸	素	要	求	量	mg/ℓ	11	19	13	10
浮	遊	物	質	量	mg/ℓ	11	28	18	8			
ク	ロ	ロ	フ	ィ	ル	a	mg/m ³	48	350	120	32	
全	窒	素	mg/ℓ	0.84	2.4	1.1	0.81					
全	リ	ン	mg/ℓ	0.062	0.10	0.094	0.052					

洲原池水質（上層）測定経年変化（年平均値）

測定項目		採水年																
		20	21	22	23	24	25	26	27	28	29							
測	定	回	数	回	4	4	4	4	4	4	4	2	1	4	4			
透	視	度	cm	19	16	22	19	15	14	11	6	36	22					
水	素	イ	オン	濃	度	8.9	8.3	8.1	7.8	8.6	8.3	8.0	8.5	7.8	8.6			
溶	存	酸	素	量	mg/ℓ	10.5	11.9	10.4	9.6	11.6	12.5	9.4	11	9.7	9.4			
化	学	的	酸	素	要	求	量	mg/ℓ	21	16	19	15	15	19	22	25	13	13
浮	遊	物	質	量	mg/ℓ	35	18	19	27	28	36	62	38	13	16			
ク	ロ	ロ	フ	ィ	ル	a	mg/m ³	95	81	142	88	83	141	167	410	47	138	
全	窒	素	mg/ℓ	1.3	1.6	2.7	2.0	1.7	1.9	2.6	2.3	0.7	1.3					
全	リ	ン	mg/ℓ	0.15	0.11	0.14	0.15	0.12	0.12	0.22	0.20	0.02	0.08					

4 生活排水対策としての下水道整備

水質汚濁防止の担い手として下水道にかかる期待は大きく、特に本市のように水質汚濁源として生活排水が占める割合が大きな地域にとって、下水道整備が水質汚濁の防止を図る上で最も有効な手段と考えられています。

(1) 刈谷市の下水道整備について

本市の公共下水道整備事業は、昭和 28 年度に下水道建設に着手して以来、境川流域下水道関連公共下水道として推進してまいりました。昭和 63 年度に境川浄化センター第 1 期工事が竣工し、平成元年 4 月より旧市街地の一部の地域の供用が開始され、平成 29 年度末現在の普及率は 92.4%となっています。今後も下水道整備の拡大に伴い、公共用水域の水環境は向上するものと思われま

(2) 境川流域下水道の普及状況

市町村名	処理区域面積 (h a)		処理区域人口 (人)		平成 29 年度普及率 (%)
	平成 28 年度末	平成 29 年度末	平成 28 年度末	平成 29 年度末	
刈谷市	2,218	2,230	138,175	139,201	92.4
安城市	730	732	54,025	54,335	88.2
知立市	611	639	44,569	47,131	65.7
豊田市	1,384	1,444	84,872	88,448	74.1
みよし市	881	883	47,176	47,592	77.9
豊明市	707	707	51,026	51,016	74.2
東郷町	491	494	34,088	34,534	79.3
大府市	1,288	1,288	75,941	76,727	83.4
東浦町	234	234	12,833	13,002	80.2
7市2町	8,544	8,651	542,705	551,986	

終末処理場

境川浄化センター	敷地面積	約 32.3 h a
	処理能力	367,000m ³ /日
	排除方式	分流式 (一部合流)
	処理方法	凝集剤添加硝化脱窒法
	放流先	衣浦港 (環境基準C-口)

5 水生生物による水質調査の概要

(1) 調査の目的

水生生物による水質調査は水質評価の新しい手法として全国的に広く実施されています。

水生生物とは水中に生活する生物をいいます。水中には藻類や原生動物などのプランクトン、水草、昆虫、魚類等さまざまな植物や動物が生息しています。これらの水生生物は、水質の影響を受け、水質の程度に応じた生物が生育するようになります。水生生物調査はこの現象を利用して、水中の生物の種類や数から水の汚れ具合を調べることにより、身近な水辺への触れ合いを深めると同時に、水質浄化に対する意識の高揚を図ることを目的として実施されています。

また、平成18年度より環境教育実践事業において、小学生を対象とした水生生物調査を実施しています。

(2) 調査の概要と活動内容

環境省作成の「全国水生生物調査実施要領」に基づき、水生生物を指標とした水質調査を実施しました。

なお、実践活動の参加者には、参考資料として、水生生物による水質の調査法の冊子のほか、指標生物をカラー印刷した下敷を配布しました。

ア 調査河川の概要

①境川……河川延長 39,829m

刈谷市の西部を流れる主要河川で流域には豊田市、大府市、豊明市、みよし市、東郷町等がある。

②逢妻川……河川延長 10,273m

③森前川……河川延長 2,200m

イ 調査方法

環境省の全国水生生物調査実施要領に基づく調査の手順については、次の通りです。

- (ア) 調査は3～5人を1グループとして行う。
- (イ) 調査する地点に着いたら、記録用紙に地点名、地点番号、年月日、時刻を書き込む。
- (ウ) 水のごり、流れのようす、川岸のようすなどその地点の状況を観察し、記録用紙に書き込む。
- (エ) 水の深さが30cm位でこぶしや頭くらいの大きさの石がある場所を探す。川岸の小さな石、砂のところも調べる。
- (オ) 地点が決まったら下流側に網を置きながらその場所の石のいくつかを静かに取り上げて、石にはどんな生物がついているのか、どのような動きをしているのかを見ながら、白いバケツかトレイに入れる。また、石を取り上げたあとの川底をシャベルや足でかきまぜ、流れてくる生物を網で受ける。

- (カ) 川岸に運んできた石は白いトレイか白い敷物の上に置き、よく見ながらピンセットなどを使って表面にいる生物をつかまえる。網に残った生物もピンセットでつかまえる。最後にビニールの敷物の上に残っている生物もつかまえる。
- (キ) つかまえた生物は、水を少し入れた白いトレイの中に入れて、下敷きの写真や説明とよく見比べて調べ、記録用紙に書き込む。

ウ 水質階級と指標生物の生息範囲

採取して名前が判明した生物の水質階級を調べるには、表－１と照合し、その生物が生息していた河川の水質の状態を判定します。

エ まとめ

表－２の調査結果については、逢妻川では指標生物が見つからなかったため測定不能、境川と森前川では調査ごとに水質階級の判定が異なる結果となりました。

参加者は水に親しみながら熱心に調査し、水生生物による調査結果と簡易水質試験の結果を比較するなど、河川の水質浄化に対する意識を一層高めることができました。

表－１ 水質階級と指標生物の生息範囲

水質階級	番号	指 標 生 物	水質階級	番号	指 標 生 物	
I	1	ア ミ カ 類	III	19	イソコツブムシ類	
	2	ナ ミ ウ ズ ム シ		20	タ ニ シ 類	
	3	カ ワ ゲ ラ 類		21	ニホンドロソコエビ	
	4	サ ワ ガ ニ		22	シ マ イ シ ビ ル	
	5	ナガレトビケラ類		23	ミズカマキリ	
	6	ヒラタカゲロウ類		24	ミ ズ ム シ	
	7	ブ ユ 類		IV	25	アメリカザリガニ
	8	ヘ ビ ト ン ボ			26	エ ラ ミ ミ ズ
	9	ヤマトビケラ類			27	サ カ マ キ ガ イ
	10	ヨ コ エ ビ 類			28	ユ ス リ カ 類
II	11	イ シ マ キ ガ イ	29		チ ョ ウ バ エ 類	
	12	オオシマトビケラ	凡 例 I……きれいな水 II……ややきれいな水 III……きたない水 IV……とてもきたない水			
	13	カ ワ ニ ナ 類				
	14	ゲ ン ジ ボ タ ル				
	15	コ オ ニ ヤ ン マ				
	16	コガタシマトビケラ類				
	17	ヒラタドロムシ類				
	18	ヤ マ ト シ ジ ミ				

表-2 調査結果

実施河川名		境川		逢妻川	
実施地点		新境橋付近		逢妻さくら橋付近	
実施機関名		富士松東 小学校	境川流域 4市1町	環境講座	
実施年月日		29.8.2	29.8.22	29.7.22	
水質階級及び指標生物の出現頻度	きれいな水	1 アミカ類			
		2 ナミウズムシ			
		3 カワゲラ類			
		4 サワガニ			
		5 ナガレトビケラ類			
		6 ヒラタカゲロウ類			
		7 ブユ類			
		8 ヘビトンボ			
		9 ヤマトビケラ類			
		10 ヨコエビ類			
	ややきれいな水	11 イシマキガイ			
		12 オオシマトビケラ			
		13 カワニナ類			
		14 ゲンジボタル			
		15 コオニヤンマ			
		16 コガタシマトビケラ類			
		17 ヒラタドロムシ類			
		18 ヤマトシジミ			
	きたない水	19 イソコツブムシ類			
		20 タニシ類			
		21 ニホンドロソコエビ			
		22 シマイシビル		●	
		23 ミズカマキリ			
		24 ミズムシ			
	とてもきたない水	25 アメリカザリガニ		●	
		26 エラミミズ			
		27 サカマキガイ			
		28 ユスリカ類			
		29 チョウバエ類			
水質階級の判定		判定不能	Ⅲ	判定不能	

※ ○出現した指標生物 ●多く出現した指標生物

表-2 調査結果

実施河川名		森前川			
実施地点		森前公園付近			
実施機関名		双葉小学校			
実施年月日		29.6.6	29.6.9	29.6.14	
水質階級及び指標生物の出現頻度	きれいな水	1 アミカ類			
		2 ナミウズムシ			
		3 カワゲラ類			
		4 サワガニ			
		5 ナガレトビケラ類			
		6 ヒラタカゲロウ類			
		7 ブユ類			
		8 ヘビトンボ			
		9 ヤマトビケラ類			
		10 ヨコエビ類			
	ややきれいな水	11 イシマキガイ			
		12 オオシマトビケラ			
		13 カワニナ類			
		14 ゲンジボタル			
		15 コオニヤンマ			
		16 コガタシマトビケラ類			
		17 ヒラタドロムシ類			
		18 ヤマトシジミ			
	きたない水	19 イソコツブムシ類			
		20 タニシ類			
		21 ニホンドロソコエビ			
		22 シマイシビル			
		23 ミズカマキリ		○	○
		24 ミズムシ		●	○
	とてもきたない水	25 アメリカザリガニ	●	●	●
		26 エラミミズ			
		27 サカマキガイ			
		28 ユスリカ類			
		29 チョウバエ類		○	
水質階級の判定		IV	III	III	

※ ○出現した指標生物 ●多く出現した指標生物